

タイトル	ひきこもりに関するアンケート
概要	東大阪市にて実施している「ひきこもり相談」について、どのくらいの方が知っているのか、また、ひきこもりに関してどのようにお考えなのか知るためのアンケートです。

対象者：300人 有効回答数：249人 回答率：83.0%

1. 会員番号を入力してください。
(会員番号はメール本文に記載しています)
(必須。4文字。半角英数(記号))

2. 性別を教えてください。(必須)

回答	選択人数	%
男性	116人	46.6%
女性	129人	51.8%
どちらともいえない、または答えたくない	4人	1.6%

3. 年齢を教えてください。(必須)

回答	選択人数	%
10代	5人	2.0%
20代	25人	10.0%
30代	45人	18.1%
40代	51人	20.5%
50代	62人	24.9%
60代	39人	15.7%
70代以上	22人	8.8%

4. 身近(本人・家族・友人・知人)にひきこもりの方はいますか。(必須)

回答	選択人数	%
いる	26人	10.4%
いない	210人	84.3%
わからない	13人	5.2%

5. 問4で「いる」と回答された方に質問です。
その方またはご家族は、支援機関から何らかの支援を受けていますか(相談していますか)。

回答	選択人数	%
受けている(相談している)	3	11.5%
受けていない(相談していない)	16	61.5%
わからない	7	26.9%

6. 問5で「受けている(相談している)」と回答された方に質問です。
その方またはご家族は、以下のどの支援機関で支援を受けていますか(相談していますか)。
(複数回答可)

回答	選択人数	%
学校・教育センター等	2	66.7%
病院・医院・専門カウンセラー等	1	33.3%
障害者関係団体	0	0.0%
NPO・民間支援団体	0	0.0%
福祉事務所・保健センター	0	0.0%
生活支援課(生活さいけん相談室)	0	0.0%
くろみ東大阪((社)つむぎ福祉会)	1	33.3%
大阪府こころの相談センター	0	0.0%
わからない	0	0.0%
その他	1	33.3%

7. 問6で「その他」と回答された方に質問です。
具体的な支援機関を教えてください。(1000文字以内)

回答数 1人

広島県東広島市の障害支援センター ほか

8. 東大阪市(生活支援課)でひきこもり相談を実施していることをご存知ですか。(必須)			
回答	選択人数	%	
知っている	27人	10.8%	<p>●知らない 89.2% ●知っている 10.8%</p>
知らない	222人	89.2%	

9. 東大阪市(生活支援課)がひきこもり等支援事業を委託している「くろみ東大阪(社)つむぎ福祉会」をご存じですか。(必須)			
回答	選択人数	%	
知っている	7人	2.8%	<p>●知らない 97.2% ●知っている 2.8%</p>
知らない	242人	97.2%	

10. ひきこもり支援において、どのような事業があればいいと思いますか。(複数回答可)(必須)			
回答	選択人数	%	
ひきこもり支援について学ぶセミナー	63人	25.3%	<p>上位5項目のみ表記</p> <p>ひきこもり当事者の居場所支援 52.2% カウンセリングや医療相談 47.4% ひきこもりの家族等が参加する家族会 45.0% 職場見学会や職業体験 32.9% ゲーム(eスポーツ)などを活用したコミュニケーション支援 29.3%</p>
ひきこもりの家族等が参加する家族会	112人	45.0%	
ひきこもり当事者の居場所支援	130人	52.2%	
ひきこもり当事者向け個別講習(グループワーク等)	71人	28.5%	
職場見学会や職業体験	82人	32.9%	
カウンセリングや医療相談	118人	47.4%	
ゲーム(eスポーツ)などを活用したコミュニケーション支援	73人	29.3%	
わからない(特になし)	31人	12.5%	
その他	12人	4.8%	

11. 問10で「その他」と回答された方に質問です。具体的な事業を教えてください。(1000文字以内)	
回答者：11人(4.4%) 回答(抜粋・一部要約)	
<p>小中高までの教科が分かる動画を配信し、誰もが閲覧できるようにする。また、ひきこもりの生徒には郵送やインターネットを利用した定期テストが行えるようにする。そのほかにもひきこもりのままでも高校進学レベルまでの学力が身につく制度を出来るだけ整える。</p> <p>まずチラシや回覧板でひきこもりとはなにかとか支援事業がある事から広く周知するののひとつの方法ではないでしょうか。</p> <p>家族を含む第三者に危害を加える言動、姿勢、行動に対する法的サポートが必要。</p> <p>ひきこもりになる一因に、受験や就職活動がうまくいかなかった。などもあると思うので、そういったところからの支援も必要だと思う。低所得者向けの学習支援や、月謝の割引を塾側にしてもらおう。新卒・既卒に関わらず、就職支援を手厚くするなどが、必要。</p>	

12. 今回のアンケート内容についてご意見・ご要望がございましたら、ご自由にご記入ください。(1000文字以内)	
回答者：62人(24.9%) 回答(抜粋・一部要約)	
<p>どこまで、どのタイミングで市役所が介入するか、とても難しく苦労されていると思います。</p> <p>ひきこもりの方がいるのは報道等で知っていますが、実際に知り合い等でも聞いた事が無く分からない。本人的にはどうする事も出来ず、色々な相談や話しを聞いてもらえる所があるのなら、平日頃から広報していくべきと思う。</p> <p>ひきこもりだけでなく、子供に関してもやってほしい。ひきこもりも難しく、人に応じたやり方や接し方など専門分野に力をいれ、一人でも助けてもらえるとうありがたい。</p> <p>幸い私の近くにひきこもりはいませんがひきこもりの居られる家族にとっては深刻な問題であり 身近に相談、体験、サポートして頂ける機関があれば心強く感じます。存在を知らない人の為に知る機会が増えれば良いと思います。</p> <p>ひきこもりにより、社会生活に支障が生まれのを予防するには、こういった支援は必要と思います。</p> <p>福祉専門職です。ひきこもりの方にはそれぞれの理由があり、根気よく関わっていかねばならないと考えています。親御さんたちの焦りは理解できますが、拙速な対応は解けそうな芽を詰むことになりかねないので、ケースごとに丁寧に対応して頂きたいです。成果(成功事例)の数で評価しないでください。</p> <p>身近にひきこもりの方がいないので、あまり実感はないが、いつ、誰が、何のきっかけでひきこもりになるのかわからないので、もしもの時、相談できる窓口や支援があるのは有り難い。ただ、まだまだ周知されていないようにも思うので、広報活動の必要性を感じる。</p> <p>ひきこもりの方全てがそうではないですが、障害という方面からも調べてみてはどうか、と思いました。</p> <p>ひきこもりの方が近くにはいないので具体的な支援方法が思い浮かびませんが当事者やご家族の方は大変だと思います。認知症の方の支援もそうですが自分に何が出来るのか学べる機会があれば積極的に参加していきたいです。</p> <p>ひきこもりはとてもデリケートで周りの人も一緒になって解決しないといけない案件ともいます。</p> <p>ひきこもりを家族だけで解消することは難しいと思います。医師、当事者の学校や職場、公的機関、くろみ東大阪のような支援して下さる団体など、繋がる先をまず知ることから始まり、本人や家族の声を上げる勇気も必要ですし、ひきこもりへの偏見などなく前向きに治療に取り組む環境を整えれば生きやすくなるかなと思います。</p>	

【総括】
 今回のアンケートは、東大阪市内にて実施している「ひきこもり相談」について、どのくらいの方が知っているのか、また、ひきこもりに関してどのようにお考えなのかを把握することを目的に行いました。
 皆様のご回答から、ひきこもり等相談事業のさらなる充実と、周知が必要であることがわかりました。
 ひきこもり問題は社会問題でもあり、家庭内のことでもあり非常に難しい問題ですが、本アンケートの結果及び皆様からの様々なご意見を活かし、事業を推進してまいりたいとおもいます。アンケートのご協力ありがとうございました。

※「%」は小数点第2位を四捨五入しているため、合計値に誤差が生じる場合があります。